

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 10 月 12 日 (2006.10.12)

【公開番号】特開 2005-171825 (P2005-171825A)

【公開日】平成 17 年 6 月 30 日 (2005.6.30)

【年通号数】公開・登録公報 2005-025

【出願番号】特願 2003-410940 (P2003-410940)

【国際特許分類】

F 0 4 D 13/06 (2006.01)

F 0 4 D 1/00 (2006.01)

F 0 4 D 29/00 (2006.01)

F 0 4 D 29/046 (2006.01)

F 0 4 D 29/04 (2006.01)

F 0 4 D 29/22 (2006.01)

F 0 4 D 29/44 (2006.01)

【F I】

F 0 4 D 13/06 D

F 0 4 D 1/00

F 0 4 D 29/00 B

F 0 4 D 29/04 G

F 0 4 D 29/04 R

F 0 4 D 29/22 A

F 0 4 D 29/22 E

F 0 4 D 29/44 A

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 8 月 25 日 (2006.8.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

回転軸と、

遠心ポンプであって、前記回転軸に取り付けられ、流体を遠心方向に加圧する両吸込型の羽根車と、前記羽根車を取囲むように配置したポンプケーシングと、前記回転軸をアキシャル方向に位置決めする圧力バランス機構とを有する両吸込型の遠心ポンプと、

磁気浮上モータであって、前記回転軸を非接触支持するラジアル磁気軸受の機能と前記回転軸を回転駆動するモータの機能を備えた磁気浮上モータと、
を備え、

前記遠心ポンプは、前記回転軸の軸方向のほぼ中央に配置され、

前記遠心ポンプの両側に二台の前記磁気浮上モータが配置されている、流体搬送機械。

【請求項 2】

前記ポンプケーシングは、ダブルポリュートを備えた、請求項 1 に記載の流体搬送機械
。

【請求項 3】

前記ポンプケーシングは、ディフューザを備えた、請求項 1 に記載の流体搬送機械。

【請求項 4】

前記圧力バランス機構は、前記羽根車の両側と前記ポンプケーシングとの間に一對の可変の隙間を備え、該一對の可変の隙間の大きさにより、前記羽根車の両側における圧力のバランスを取る、請求項 1 に記載の流体搬送機械。

【請求項 5】

前記磁気浮上モータは、
極数が 2 つ異なる 2 つの回転磁界を形成するステータと、
前記 2 つの回転磁界により回転駆動されると共に磁気浮上支持されるロータと、
を備えた、請求項 1 に記載の流体搬送機械。